

# イチオシ!

## M OVIE

### 『第8回UNHCR難民映画祭』

世界では4秒に1人、紛争や迫害などが原因で故郷を追われている人々がいる。2012年には新たに約760万人が難民・国内避難民となり、現在、その数は合計4,500万人以上。そんな難民の現実を知ってもらおうと、今年も国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所が映画祭を開催する。シリア内戦で避難を余儀なくされた難民たちへのインタビューを基にした『シリア、踏みにじられた人々と希望』、ミャンマー軍事政権の弾圧を逃れ、東京で暮らしてきた青年の生きざまを追った『異国に生きる一日本の中のビルマ人』など、全15作品が上映される。難民一人一人のリアルな物語に目を向けてみよう。



© UNHCR

会期：9月28日(土)～10月6日(日)  
 会場：東京都内7カ所 (青山学院アスタジオ、セルバンテス文化センター東京、イタリア文化会館、グローバルフェスタJAPAN2013、明治大学和泉キャンパス、明治大学中野キャンパス、早稲田大学 小野記念講堂)  
 URL：unhcr.refugeefilm.org/  
 問：国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所  
 TEL：03-3499-2011

## E VENT

### 『災害に負けない国づくり 日本発 防災・復興支援展』

世界各地で発生する自然災害。日本も台風や地震、火山噴火など数々の災害を経験し、そのたびに防災対策の強化に取り組んできた。一方で、災害に耐え得るインフラも、防災を推進する人材も不足している開発途上国では、この30年で、約230万人が災害により命を落としている。

この展示では、日本の災害の歴史から、途上国が直面する課題、日本の経験を生かした国際協力まで、防災・復興支援のイロハを紹介。国境を超えたつながりが強まるこの時代、私たちは災害にどう立ち向かっていくべきか。これを機に考えてみては。



会期：8月6日(火)～12月1日(日)  
 10～20時 (土日祝は18時閉館 / 第1・第3月曜休館)  
 会場：JICA地球ひろば (東京・市ヶ谷)  
 問：JICA地球ひろば  
 TEL：0120-76-7278 (フリーダイヤル)  
 URL：www.jica.go.jp/hiroba/about/experience/exhibition/index.html

## B OOK

### 『アフガニスタンに平和の礎を 人々の生活再建に奔走する日本人たち』

2001年末、タリバン政権が崩壊したアフガニスタン。国際社会から“忘れられた国”の復興を、日本は積極的に支援してきた。いまだ治安が安定しない中、日本政府や民間企業の関係者、NGOスタッフ、国際機関やJICAの職員など、さまざまな立場から現場に赴き、アフガニスタンのために奔走した日本人たち。緊急人道支援から新しい国づくり、そして未来を担う人材育成まで、その分野は多岐に渡る。そんな彼らの体験談を通じて、日本のアフガニスタン支援の全体像に迫る。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

JICA研究所アフガニスタン・プロジェクト・チーム 著  
丸善プラネット  
1,680円 (税込)

## B OOK

### 『跳べ！世界へ エアラインから国連、国際NGOへ』

冷戦下の東ベルリン生まれ、中国育ちの著者は、アメリカ留学後、世界を飛び回りたいと欧米の航空会社に就職。フライトで訪れたアジアやアフリカの国々で貧しい子どもたちと出会い、世界にはびこる格差を知る。その後、人身売買を経験した子どもをケアするボランティアなどを経て、2009年、国連開発計画 (UNDP) の職員に転身。教育支援に汗を流す中、銃撃に遭い、九死に一生を得たことも。それでも彼女は、私にはまだやるべきことがあると立ち上がる。一見華やかな人生の裏側にある努力や葛藤が綴られた一冊。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

佐藤真由美 著  
解放出版社  
1,575円 (税込)